



10.21  
2021  
VOL.231

第35回駿輝祭  
オンラインにて開催!



# 第35回 駿輝祭

本学の学園祭である「駿輝祭」が10月30日(土)に無観客オンライン配信にて開催されます!

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止となってしまいましたが、今年は初のオンライン開催に向けて駿輝祭実行委員一丸となって準備を進めてきました。

今回は駿輝祭実行委員会を代表して委員長・副委員長からのコメントと、当日の見どころをご紹介します。

## 委員長

メディア情報学部 3年  
坂東 由英  
東京農業大学第三高校出身



駿輝祭実行委員委員長の坂東です。

新型コロナウイルス感染症が蔓延している状態での準備は至極困難を極めました。

オンラインで活動していましたが、実行委員内での交友関係を深めることができず1年生や2年生の気持ちを考えると、断腸の思いでした。

その中で作り上げる駿輝祭、当然オンラインだからといって妥協する気はありません。どうぞ期待してください。

## 副委員長

メディア情報学部 3年  
加藤 駿弥  
五所川原第一高校出身



皆さんこんにちは!

待ちに待った駿輝祭がやってきました!

今年のテーマは「吉陽来福」です。駿輝祭の成功、そして一人でも笑顔になってくれることを願って取り組んできました。

さて、今回の注目プログラムは「視聴者参加型RPG」「トークショー」「爆笑お笑いライブ」です。オンラインならではの企画を始め、サークル団体によるパフォーマンスなど盛り沢山! な、なんと! 超大物ゲストが登場!

是非オンラインと一緒に盛り上がりましょう! 全国の皆さんのご視聴お待ちしております。

## 10月29日(金)「前夜祭」

19:00 ~ 20:00  
無観客オンライン配信

### 同窓会・父母会共催 オンライン講演会

講演者に、気象予報士の森田正光氏をお迎えし、オンライン配信での講演会をお届けします!



### 爆笑お笑いライブ

開始時間 17:30 ~ (駿輝祭フィナーレ内)

今年のお笑いライブには、「女芸人No.1決定戦 THE W 2020」のファイナリストぼる塾。更に! 2017年K-PROライブアワード MVP 大賞のモグラライダーの2組が登場します。爆笑間違いないのライブをお楽しみに!



## 10月30日(土)「本祭」

10:00 ~ 18:00  
無観客オンライン配信

### トークショー

開始時間 14:00 ~

「進撃の巨人」「七つの大罪」を始め、アニメ作品など様々な場面でご活躍されている大人気声優!! 梶裕貴氏によるトークショーです。

※視聴には事前登録が必要になります。

詳細は駿輝祭公式HPをご確認ください。



### 学食ランキング

開始時間 12:15 ~

駿河台大学の学食の魅力をランキング形式で皆さんにお伝えします! どのメニューがランキングに入るのか、乞うご期待ください!

※時間は前後する可能性がございます。ご了承下さい。

### 視聴者参加型RPG 駿大ホラーナイト 囚われた彼女を救え

開始時間 15:30 ~ (駿輝祭フィナーレ内)

駿輝祭フィナーレでは画面の向こうにいるあなたが打つコメントで、立ちをはかる敵を倒していく、参加型RPGを行います!

オンラインならではの企画で、皆さんに楽しんでいただけること間違いなし! ぜひご参加ください!

他にもサークルやゼミの発表などの企画を用意しています。詳しくは駿輝祭公式ホームページ(運営:駿輝祭実行委員会)をご覧ください。

下記QRコードからもご確認いただけます。

※企画・出演者等は変更になる場合があります。予めご了承ください。



HP



Twitter



Youtube



2019年度ゼミ合宿のひとつま-水俣湾を望む-

# vol.02 #水俣から学ぶを考える



スポーツ科学部スポーツ科学科/  
現代文化学部現代文化学科

## 平野 和弘 准教授

専門分野：スポーツ教育学、教科教育学  
主な担当科目：『保健体育科教育法』、『生徒指導論』、  
『特別活動論』、『スポーツ教育』など

### Profile

1960年1月生まれ。1983年埼玉県立浦和西高等学校教諭。2007年埼玉県立浦和商業高等学校教諭。2014年駿河台大学 経済経営学部 兼任講師。2020年4月～駿河台大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 准教授／現代文化学部 現代文化学科 准教授。

平野和弘准教授についてもっと知りたい方は  
本学ホームページをご覧ください。▶▶▶



### 専門分野・研究内容について

今年9月、映画「MINAMATA - ミナマター」が公開されました。写真家ユージン・スミスが主人公です。世界各国を取材したユージンが、最後に選んだのは熊本県水俣でした。彼は水俣病の患者さん達に寄り添い畏敬の念をもち、生活や環境を撮影し続け写真集「水俣」を完成させます。映画でユージンを演じるのは「パイレーツ・オブ・カリビアン」など知られるジョニー・デップです。彼は二十代で、ユージンの写真に出会います。ユージンが発信した水俣の現状を今こそ伝えなければと映画に出演しています。正式発見からすでに65年が経ち、水俣病は解決したと思われる中、今なお病苦に苦しみ偏見や差別で傷つけられている患者さんたちがいます。ユージンの写真が伝え続け、ジョニー・デップが映画という方法で、世界に訴える。

教育も同じだと思うのです。私は「教育」を専門としています。教える「対象」を「伝える」ために「何が出来るか」を考え続けています。ユージンのように対象に迫り、ジョニーのように伝えるために何が出来るかを考える。「水俣」を学ぶことでその糸口が見つかるかもしれないと、学生とともに水俣に行き、学び続けています。

### 休日の過ごし方や趣味

私の趣味は読書と音楽と泳ぐこと。休みの日はこのどれかに没頭しています。しかし一方で、カフェとスタジオにも入り浸っています。というのは、仲間と共に若者支援に取り組んでいるからです。不登



響舞台の様子

校やいじめ、虐待や経済的理由により、社会や学校から切り離されてしまった子どもや、若者が集まれる場所としてカフェを運営し、彼らが活動できる場所として和太鼓のスタジオがあります。興味がある方はご連絡ください。一般社団法人Moonlight Projectが運営するカフェスタジオにご招待します。

### 学生に向けてメッセージ

大学時代は、とても大切な「学び」の時間を確保できます。そこには二つの大きな出会いがあります。本と人との出会いです。学びの基本でもある「読む」ことは、他者の考えを「聴く」ことで、新しい考えを創造する「対話」につながっていきます。ぜひ本学で、たくさんの本と出会い、人と出会い、「対話」していきましょう。

## PICK UP!

夢ナビライブ 2021 Web in Summer 国公立大合同進学オンラインイベントが7月に開催され、平野和弘准教授が「健康に生きるために必要な力」の講義（30分）を行いました。その講義ビデオが、「駿河台大学教員によるミニ講義」の1つとして夢ナビのサイトで公開されています。ぜひQRコードよりご視聴ください！

### 先生が目指すSDGs



# キャリアセンターより

## from the Career Center



## 木曜日は 就職活動準備の日

キャリアセンターでは、毎週木曜日を「木曜日は就職活動準備の日」として、2023年3月卒業予定の学部生、大学院生を対象とした講座を開催しています。9月30日(木)の「就職ガイダンス④」を皮切りにして本格的な準備を進めています。

### 就活に“準備”は必要不可欠!?

毎年行われている就職活動。キャリアセンターではこれまで多くの学生を見守り、支援してきました。私たちの思いはひとつ。「それぞれの学生が納得のいく就職活動をしてほしい。」これに尽きます。多くの学生を見てきたからこそ言えるのは、就職活動の準備は絶対に必要だということです。本講座のプロ講師陣は、ネガティブな文脈で語られることの多い就職活動をポジティブに捉えることができるようになる指導に長けています。考えながら参加してもらえれば「内定が出やすくなる思考法」も身につけることができます。

#### 就職ガイダンス④

もしかしたら皆さんの周りには就職活動に対する多くの情報があり、戸惑いがある方や、まだ何もわからないという方もいらっしゃるかもしれませんがご安心ください。これから本格化する就職活動の中で何に力を入れたいのか、ここだけ押さえておけば大丈夫というポイントをお伝えしていきます。皆さんを含めたいいろいろな学生が今どのような状況なのか、企業の採用はどのように進んでいくのか、後期からの歩き方をシンプルに解説していきます。

#### マナー/質問の仕方講座

オンライン・対面で人事担当者と接するときには気をつけなければいけないポイントを解説していきます。どのように接することができれば、良い印象を持っていただけるかを知っておきましょう。映り方や表情も重要な要素ですが、積極的に質問をしたり、その質問の中身がかなり重要だったりします。素敵な学生さんだな!と思ってもらえれば普段聞けないことができるかもしれません!

#### 業界研究講座

皆さんは就職したい業界は決まっていますか?世の中には様々な業界があります。やりたい仕事が決まっている方もいるかもしれませんが、実はその仕事には別の業界が強く関わっている場合があります。それを理解できていたら、面接が有利に進められると思いませんか。また、やりたい仕事・できそうな仕事が見つからない方はまず多くの業界トレンドを知ることから始めましょう。挑戦したい道が見えてくるかもしれません。



#### グループディスカッション 対策講座

オンライン対面問わず多くの選考でグループディスカッションがあります。グループディスカッションで評価されるには3つのポイントを押さえる必要があります。そのポイントを理解すればそんなに怖いものではありません。皆さんがグループディスカッションをしっかり攻略できるようにしていきます。

#### 面接対策講座

面接で聞かれることを徹底解説していきます。聞かれることを想定できれば、面接攻略の近道になるかもしれません。ただし、面接で最も重要なことは相手を知り、自分のことを知ること。皆さんがどのような人なのかを効果的に伝える方法を解説していきます。

#### 自己理解/課題添削講座

就職活動において「自分を知る」ということは重要なことです。「自分を知る」と言われても、どのように知ればよいのか分からないという方は多いと思います。そのような不安を、様々な視点を伝えながら解消していきます。最後は、この講座で学んだことを添削課題で試していきましょう。はじめは、みんなわからないものです。一緒に挑戦していきましょう。

#### 受講生の声

一歩踏み出す勇気がなく夏は1社のみのインターンシップ参加で終わりました。まだ自分のやりたいことはハッキリしていませんが秋冬のインターンシップに積極的に参加し、周りに追いつき追い抜きたいと思いました。(心理3年) / インターンシップにあまり参加できずに焦りがあったのですが、今から動けば間に合うと知ることができてよかったです。一人で頑張らなければいけないと思っていたのですが、大人に頼ることや、友達と話すことが大事になると知りました。(心理3年) / まだあまり進められていない自分がとても嫌でしたが、業界企業研究等積極的にしたくなりました。(法3年) / 他の学生と比べてしまうことがあるけれど、自分を信じて就職活動を進めていけばいいと思うことができました。(法3年) / 自己PRについて、もしかしたら主張するポイントを間違えたものを作成していた可能性がある気づきを得ることができました。(心理3年) / 半年後に本格的な就職活動が始まることに不安しかありませんでしたが、きちんと早めに動けば恐れることは無いのだと思いました。(メディア情報3年)

# LO活プロジェクト！

## 地元に戻って働きたい 地方で働きたい学生のための個別相談開催中！

本学には、全国各地の出身者が在籍しています。そのため、地元に戻って就職し、地元のために貢献したいと“Uターン”就職を考えている学生や、出身地以外の地域に魅力を感じてその地域で生活し働きたいと“Iターン”就職を希望する学生が多数います。キャリアセンターでは、U・Iターン就職希望者を対象とした支援の一つとして、全学年対象LO活(ローカッツ)個別相談を実施しています。「地方企業の見つけ方」「地方インターンシップの探し方」など、漠然とした質問も大歓迎です。専門のカウンセラーが相談のってくれます。地方就職を考えている学生は気軽にご利用ください。

**全学部・全学年対象** ※大学院生含む **LO活** **対面**

地元・地方での就職を考えているあなたへ

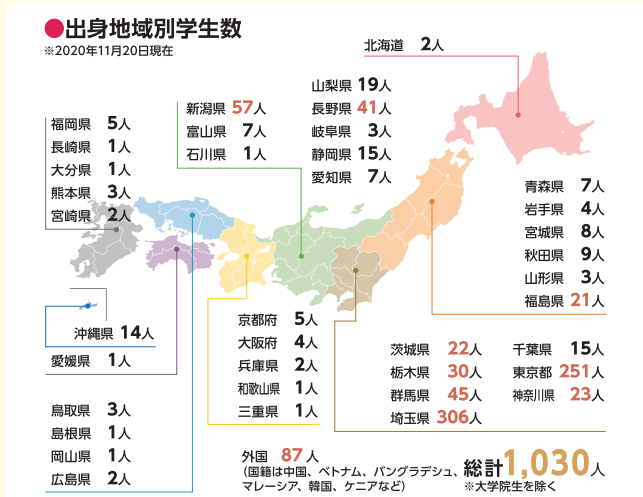
**地方就職個別相談コーナー開設!!**

**【日時】**  
 9月22日(水) 各日共通  
 10月8日(金)・20日(水) ①12:30~13:20  
 11月5日(金)・17日(水) ②13:30~14:20  
 12月3日(金)・15日(水) ③14:50~15:40  
 1月7日(金)・19日(水) ④15:50~16:40  
 2月4日(金)・16日(水)  
 (場所) キャリアセンター (対面式)

どんなことが相談できるの？  
 ◆内定をもらえなかった理由の仕方  
 ◆地方企業の見つけ方  
 ◆地方インターンシップ先の探し方  
 ◆地方企業が求めるペイト情報  
 ◆奨学金返済支援・交通費補助などの情報  
 ◆ES添削 / 面接指導  
 ◆その他、どんな相談にも対応します!

希望者はキャリアセンター窓口または  
 電話 (TEL:042-972-1131) で予約してください!

キャリアセンター 地方就職支援課 (LO活プロジェクト) 事務局



2022年3月卒業予定者出身地別学生数



キャリアセンターには各地から多くの資料が届いています。

※詳細はキャリアセンターのホームページをご覧ください。

[https://www.surugadai.ac.jp/career/pdf/pickup-localrecruit2021\\_06.pdf](https://www.surugadai.ac.jp/career/pdf/pickup-localrecruit2021_06.pdf)  
 キャリアセンター Tel : 042-972-1131 Mail : syusyoku@surugadai.ac.jp

## メディアセンター

より  
from the Media Center

## リモートアクセスサービス始めました

去る9月15日(水)より、リモートアクセスサービス『RemoteXs』(リモートエックス)の利用を開始しました。この『RemoteXs』のトップページにログインすることにより、これまでキャンパス内でしか利用できなかった電子資料(データベース・電子書籍・電子ジャーナル等)に、学外からも遠隔操作でアクセスできるようになりました。自宅・地元からデータベースを使った新聞記事・雑誌記事・判例等の検索、電子書籍・電子ジャーナルの閲覧ができるようになることで、皆さんの充実した在宅学修の一助になれば幸いです。

以下、利用上のお願いです。

1. 本学の学部生・大学院生・教職員の皆さんが利用できます。
2. 初回利用時にパスワードの設定が必要です。9月15日付のポタロウ「大学からのお知らせ」に添付した『RemoteXs利用のしおり』(以下、『しおり』)を必ず参照してください。  
※『しおり』はポタロウ内の「学生キャビネット O2 マニュアル」「教職員キャビネット O3 マニュアル」にも掲載しています。
3. ブラウザについては「Google Chrome」「FireFox」の最新版の利用をおすすめします。

- ① ログイン画面から、メールアドレス・パスワードを入力して、「Log In」をクリックしてください。



- ② 『RemoteXs』のトップページが表示されます。電子資料のタイトルをクリックすると、利用を開始することができます。



# グローバル教育センターより from the Global Education Center

## パンデミック下でつながる コミュニケーション ～日本語科目のICT教育～

駿河台大学の留学生対象日本語科目では、オンラインツールを使って、さまざまな大学と交流を行なっています。今回はその様子を紹介します。

(報告：八木真奈美 グローバル教育センター教授・日本語担当)

### 日本語科目の遠隔・オンライン交流授業

春学期は、日本語演習授業において、韓国の大学で日本語を学んでいる学生さんとZoomを用いてオンライン交流をしました。

5月は世明(セミョン)大学(忠実北道堤川市)です。各国の社会や文化、就職や将来のキャリアについて、数人ずつのルームに分かれて、就職状況の違いや卒業後に何をしたいかなどについてディスカッションをしました。学生の一人は「卒業後にやりたいことについてフィードバックをもらった」と感想を書いていました。6月は慶星(キョンソン)大学(釜山広域市)です。事前にほかの学生に聞きたい質問を一人一つずつ考え、数人ずつのルームに分かれて、質問をし、共有ボードで共有しました。学生のアンケートでは、「同じアーティストが好き」など、好きな歌手やゲーム、ドラマ、アニメなどの話で盛り上がったようです。好きなものに国境はありませんし、誰かの言葉が背中を押すこともあります。

2回の交流を終えて印象に残ったこととして、「コロナの中で授業の話や就職の準備などもみんなの感想をきいて、すごい経験ができました」、「たくさん友達ができ」、「楽しくて、交流して勉強になると思っています。コロナ時代だけでなく、このままやっていきたいと思えます」などがあり、思わず「イネ！」を押したくなりました。



世明大学(忠実北道堤川市)



世明大学キャンパス風景

### 知っていますか？ 駿河台大学の留学生

さて、現在、本学には195名の留学生が在籍しています(2021年5月1日現在)。国籍も多い順に中国、ベトナム、バングラディッシュ、ネパール、マレーシア、ミャンマーと続きます。大学の中にも小さな「グローバル社会」があり、いつもにぎやかです。



### 言葉を使うことの大切さ

日本語科目では、日本語を「覚える」ことではなく、「使う」ことを大切にしています。しかし、昨年から「人と会って言葉を使う」という当たり前のことがとても難しくなりました。一方で、Zoomなどオンラインツールの広がりにはめざましいものがありました。そこで日本語科目では、昨年から「遠隔・オンライン教育」を始めました。「遠隔・オンライン教育」は「遠隔教育システムを用いて、同時双方向で学校同士をつないだ合同授業の実施」(文部科学省,2021)です。昨年度は兵庫県の大学やスリランカの語学スクール、今年度は韓国やタイの大学と交流します。

### 世界はとりにある、つながる

パンデミックの中でも「人と会って言葉を使う」こと、「異文化に出会う」こと、そして同じだと「共感する」こと、それが本当に貴重な体験だったことが学生の感想からわかります。オンラインツールを使えば、自分の家から、大学から、さまざまな人と会って話すことができる、ちょっとワクワクしませんか。学生の皆さん、秋学期の交流授業は見学歓迎です！世界とつながる空間へ、遊びに来ませんか。



## SUNDAI SPORT Information



## TOKYO2020を支えた駿大アスリートスタッフ

「TOKYO2020オリンピック競技大会」に、駿河台大学の体育公認団体指導者・関係者がコーチングスタッフとして参加しました。今号では3名の方々に登場いただき、裏から支えた「TOKYO2020」について寄稿いただきました。

## 指導者として自国開催の「TOKYO2020」 スポーツ科学部講師 陸上競技部監督 邑木 隆二

私は今回のオリンピックに陸上競技の男子短距離400m、4×400mRのコーチとして参加しました。男子の短距離コーチは全員で8名いて、会場に入ったのはそのうち5名でした。

私の役割は、シーズン前の強化トレーニングのメニュー作成から練習への取り組みに始まり、調整期間のコーディネート、候補選手の選考、そして最終的に出場する4名の選手の選考といった流れでした。

7月28日(水)からナショナルトレーニングセンターで事前合宿が始まり、8月4日(水)に選手村入りしました。今回のオリンピックは無観客開催ということもあり、関係者以外の方の入場はできませんでした。当然選手たちはほとんど人のいないガラガラのスタジアムでの大会開催はさみしい・物足りないと感じるのではないかと、皆さん思われたのではないのでしょうか。しかし新国立競技場の作りはとても斬新で、観客席は、白、黄緑、グレー、深い緑、濃い茶色の5色のアースカラーの座席がランダムに配置されており、あたかも多くの観客が座っているのではないかと感じさせてくれるものでした。とても素晴らしい観客席だと私だけでなく

選手のみならずも感じていました。

選手として出場が叶わなかったオリンピックではありますが、指導者として初めてのオリンピックが自国開催の「TOKYO」であり、とても感慨深い思いがしました。この経験を今後の指導に活かし、ゆくゆくは本学からオリンピック選手を輩出したいと思います。



邑木講師の体験記は、本誌以外にも本学のホームページにて連載記事を掲出しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

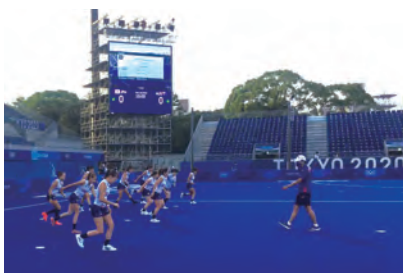


## 1点が示す世界との大きな差 女子ホッケー部トレーナー兼フィジカルコーチ 茂木 淳

私はホッケー競技女子チーム(通称: さくらJAPAN)にトレーナーとして参加しました。選手の体調管理やコンディショニングが主な仕事です。試合中の怪我や暑さ対策にも対応しました。試合時間が日中暑さ真っ只中のこともあれば夜9時頃からの試合もあり、コンディションを調整するには大変神経を使いました。

さくらJAPANは予選プールで中国(世界ランキング10位)、ニュージーランド(6位)、オーストラリア(3位)、アルゼンチン(4位)、スペイン(7位)の5チームと対戦、残念ながら勝ち点を上げることはできず予選敗退となりました。5チーム中4試合が1点差ゲームでしたが、その1点が世界との大きな差と痛感せざるを得ない大会となりました。

今回のオリンピックで特に特徴的だったのはやはり新型コロナウイルス感染症対策があったことです。選手・スタッフは毎日PCR検査を実施、消毒や体調報告等が義務付けられました。バブル方式を採用していたので選手



村と会場以外の外出は制限されていましたが、選手村内の施設が十分でしたので生活する上では特に不自由はありませんでした。

## 見どころ満載のホッケーの魅力

食事は広いダイニングで24時間利用できます。昼食時などはやはりとても混みます。ピュッフェスタイルですが、入口では手の消毒とビニール手袋の着用が必要でした。

ダイニングの中には日本食、洋食、中華に加え、『ハラール』コーナーもあります。『ハラール』とはイスラム教徒の人でも食べられる食べ物のことです。他にも『グルテンフリー』コーナーもあり、オリンピックが世界中から様々な宗教や食文化の選手が集まる大会だと改めて実感させられます。

ホッケーは日本ではまだまだメジャーなスポーツとは言えません。しかし世界的にはプロリーグや国技になっている国があるほど盛んなスポーツです。本学でも男女ホッケー部が全国や関東の舞台で戦っています。チャンスがあれば皆さんもぜひご覧になってください。スピーディな試合展開や緻密なテクニク等、見どころ満載でホッケーの魅力を感じられるはずです。



## 安心・安全な大会への誇り 陸上競技部コンディショニングコーチ 宮澤 葵

私は、今回のオリンピックで陸上競技の選手用医療スタッフとして、7月30日(金)から8月7日(土)までの9日間、北海道で行われた競歩・マラソン以外の全種目に対応しました。競技中・競技直後・ウォーミングアップ中の選手の救護です。競技中に怪我をしてしまった選手に対して、医務室へ搬送するのか、テーピングなどをして競技を続行するのか、心肺蘇生法などが必要なかを判断し対応する役目です。陸上競技ではスタジアム1周に対してコーナーごと4班に分かれて備えました。国内の試合でも、同様の体制をとりますが、資格の規定は特にありません。しかし、オリンピックでは医師・理学療法士・アスレティックトレーナーなど様々な資格を持ったスタッフがチームを組みました。

この役目は競技を一番近くで観察することができますが、その分テレビやカメラで撮影されてしまうことも多く、その動きが世界へ発信されてしまうリスクがありプレッシャーのかかる場所でもありました。私が

関わった救護について印象的だったのは、競技終了後に嘔吐をした選手への対応です。コロナ禍ということで、暑い中でガウン・ゴム手袋・フェイスシールド・マスクの感染予防をしながらの救護は忘れることができません。いずれにせよ、陸上競技はオリンピックを通して命に関わるアクシデントは起こりませんでした。安心・安全な大会の一員になれたことを誇りに思います。



7面に引き続き、東京オリンピックにNTO (National Technical Official 国内技術役員) として派遣された職員からも体験記を寄稿いただきましたのでご紹介します。

## 東京オリンピック／セーリング競技役員として参加して 健康相談室職員 高橋 祐司

昨年の夏に予定されていた東京2020オリンピック／セーリング競技が、2021年7月22日(木)から8月5日(木)の15日間(準備日含む)、神奈川県藤沢市江の島で開催されました。今回の東京五輪は57年ぶり2度目の開催でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で無観客での大会となりました。

私は、競技役員としてWorld Sailing (International Federation) から推薦され、日本セーリング連盟 (National Federation) から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるNTO (National Technical Official 国内技術役員) として派遣されました。

ここでの私のミッションは、Technical Operation (備品、運営艇、コーチボートの管理業務) として、陸上全体の動きをコントロールする業務でした。具体的には、レースの運営艇や審判艇の管理、または、各国のコーチボートの管理 (係留場所の指示や燃料の補給等)、また陸上で起こる様々な不測の事態の対応を行いました。今回の不測な事態としては、大会期間中に大型の台風8号が本州南東の海上に発生し、7月27日ごろ関東から東北に上陸する恐れがあると予報され、会場内の台風対策 (運営ボートの係留等) を行いました。結果的には台風の進路が北にそれ、大きな影響を受けることなく無事レース進行ができましたが、一瞬緊張が走りました。

今大会、日本チームは10種目に出場し、うち470級男子と女子が決勝へと勝ち進み、ともに7位入賞を果たし、その活躍の様子はテレビでライブ放映されました。

(公益財団法人日本セーリング連盟からの大会報告 <https://www.jsafor.jp/tokyo2020/message.html>)

世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下での今回の開催は、かなり気を遣うことが多かったですが、パンデミック対策が徹底され、安心して競技ができたことと多くのセーラーから評価をいただきました。



また、大会運営者によるきめ細かいレース進行や、各国の選手・役員に対するボランティアスタッフの心遣いに対しても多くの称賛の声をいただきました。このことは、我が国のスポーツ界・セーリング界において、大きな成果であったと同時に誇らしく思っております。

今後、このオリンピックでの貴重な経験を通じて、スポーツ・セーリングの楽しさ、オリンピックの素晴らしさを発信し、次の世代に繋げていきたいと思っています。

最後になりますが、このようなオリンピックの機会に役員として快く送り出していただいた大学関係者の皆さまに深く感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

健康相談室  
からだと  
こころの救急箱 ③8  
カウンセラーのリレーコラム

**「制限の中にもプラスの意味を見出す」**

昨年からの新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、未だ収束が見えない状況の中で、不安な日々を過ごされている人は多いと思います。現在日本で感染が拡大している「デルタ株」は、若者でも重症化しやすいと言われて、新型コロナウイルスの接種が推奨されています。新型コロナウイルスの接種が開発され、やっと希望が見えて来たと思っただけにまた新たな変異株が出現し、以前のように安心して日常生活を過ごせるようになるまでには、まだまだ時間が必要そうです。

大学では対面授業が限定され、従来のような大学生を送れない不満に加えて、就職活動に対する不安や新型コロナウイルスの接種するかどうか、友人と遊びに出かけるかどうかといったコロナ禍独自の悩みも加わり、鬱々とした日々を過ごしている人もいます。

人は未知の状況下では、従来の対処法がとれず、不安になりやすいものです。そういった未知の状況下で大事なことは、まず正しい情報を得ること、それに対する対策を知ることです。そして、日常とは違う状況であっても、自分の目標を見失わず、制限の中にあってもできることを淡々と取り組み続けることではないかと思えます。大学に入学したら、こんなことがしたい、あんなことがしたいと思っていた人は、コロナ禍で以前と同じような形で行うことはできませんが、感染対策を講じながら、どう工夫をしたら行えるかを考えてみてください。そういう取り組みをしていくことは、従来の形に囚われず、新たな発想を生み出すことに繋がると思います。

自分なりに考えても答えが見出せず、判断に迷ったら、遠慮なく健康相談室を活用してください。一緒に答えを導き出しましょう。

健康相談室カウンセラー  
吉田 紫



9月30日(木)、秋季卒業生を対象に新型コロナウイルス感染症予防に配慮したうえで本学第二講義棟15階スカイラウンジにて学位記授与式を挙行了しました。

社会に巣立った7名の皆様のご卒業を大学役員教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

秋季学位記授与式を挙行了しました